

11月のおすすめ図書

『君のクイズ』 小川 哲／著

クイズの最終問題が読まれる前に正解する、という前代未聞の事態。

なぜ正解できたのか。
ヤラセなのか魔法なのか、
納得のいく結末は用意されているのか？！



『コンビニ兄弟』 町田 そのこ／著

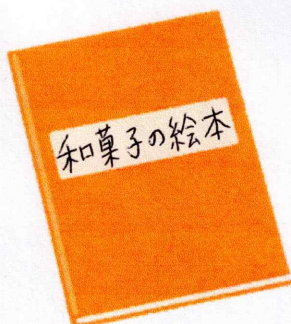
九州だけに展開するコンビニチェーン「テンダネス」。その「門司港こがね村店」の名物店長のもとに、今日も個性的な常連客と、悩みを抱えた人々がやってくる。北九州が舞台です！



『和菓子の絵本』 平野 恵理子／作

おいしいだけではない、四季を感じ、日本の心を伝えてくれる和菓子。

材料や作り方、お菓子にまつわるお話など、美しい絵で紹介される和菓子のとりこになるかもしれません。洋菓子派の人も是非、読んでみてください。



教科書にでてくる古典シリーズ くもん出版

有名な古典作品をマンガでわかりやすく解説してあります。話の流れに加えて、作者やその時代の背景もおり交ぜてあり、楽しく読めます。「竹取物語」、「平家物語」、ほかにもたくさん！

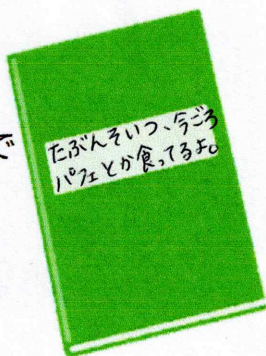


『たぶんそいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』

Jam／マンガ・文

書店でみかけて、つい手にとってしまった。

4コマ漫画に加えて、悩んでいることや気になることが、ずっと消えていくような、心を軽くしてくれる話が書かれています。



『泥』 ルイス・サッカー／著

立ち入り禁止の森の中で、ブクブクと泡を出している不気味な泥に触れてしまった主人公のタマヤ。触れた手には水ぶくれができて、どんどんひどくなっていく。近未来を舞台にしたパニック小説。



『太陽の棘』 原田 マハ／著

史実をもとに書きあげられた小説です。

戦後の荒廃した沖縄に、軍医として勤務するアメリカ人と、日本人画家達の友情、美術に対する想いが綴られています。



『へいわとせんそう』

たにかわしゅんたろう／文 Noritake／絵

読むだけなら、1分かかりません。見るだけでも、1分かかりません。

けれども、いちど読んでみると、ずっと心と記憶に残るような絵本です！

